

鹿島灘はまぐり標識員の再捕報告 (短報)

所 高利

Catch Record of marking hard clam, *Meretrix lamarckii*

Takatoshi TOKORO

Key word: Catch Record, hard clam, *Meretrix lamarckii*

鹿島灘はまぐり (標準和名: チョウセンハマグリ) は、鹿島灘砂浜域を代表する二枚貝である。茨城県では、鹿島灘はまぐりの成長・生残・移動分散等を把握するため、過去に標識放流が繰返し行われてきた。今回、放流から長期間経過したとみられる鹿島灘はまぐり標識貝が漁業者により再捕されたため、記録として報告する。

再捕された標識貝の漁獲および個体情報については下記のとおりである。

再捕事例1 (図1)

再捕年月日: 2002年11月13日

再捕場所: 銚田市下沢沖

再捕漁船名: 鹿島灘漁業協同組合 神成田丸 (4.9トン)

漁法: 貝桁網

標識: ダイモテープ黄色 文字「K」

殻長: 96.2mm

殻幅: 44.9mm

殻高: 75.3mm

鹿島灘はまぐりのダイモテープを用いた標識放流は、過去に1978年11月29日~12月5日、1982年5月16日、1983年4月8日、1988年10月23日の計4回実施されており、これ以降は実施されていない (茨城県1981, 茨城県1983, 茨城県1985, 茨城水試1992)。

各放流回次における放流情報のうち、放流貝に施されたダイモテープの一部情報 (テープ色、刻印) が失われているため、今回再捕された標識貝がどの回次に放流されたものであるのか識別することはできなかった。

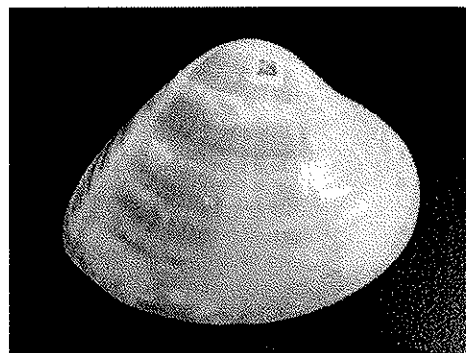


図1 2002年に再捕された標識貝 (再捕事例1)

再捕事例2 (図2)

再捕年月日: 2005年8月11日

再捕場所: 鹿嶋市明石沖

再捕漁船名: 鹿島灘漁業協同組合 神成田丸 (4.9トン)

漁法: 貝桁網

標識: ダイモテープ青色 文字なし

殻長: 98.4mm

殻幅: 46.2mm

殻高: 74.5mm

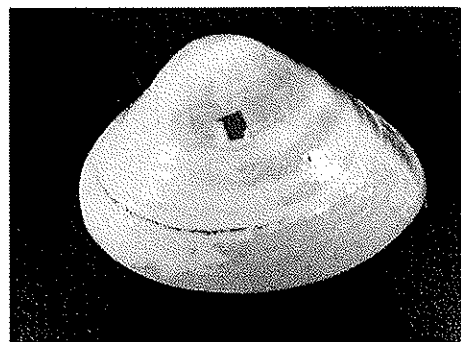


図2 2005年に再捕された標識貝 (再捕事例2)

今回再捕された標識貝は、いずれも放流時期の特定には至らなかった。しかし、ダイモテープを用いた標識放流が行われていた期間（1978年11月29日～1988年10月23日）を考慮すると、今回再捕された標識貝は放流から再捕されるまで最小で14年、最大で26年経過していることが推察された。

今後は、再捕された標識貝の放流時期の特定にむけ、貝殻年齢形質を用いた放流履歴の解明が必要である。

文 献

- 茨城県（1981）昭和55年度保護水面管理事業調査報告書，37-38.
- 茨城県（1983）昭和57年度保護水面管理事業調査報告書，43-50.
- 茨城県（1985）昭和57～59年度鹿島灘北部海域総合開発調査事業報告書，48-53.
- 茨城水試（1992）放流貝の障害輪について．茨城水試ゼミ資料.